

3.2.3 予測結果

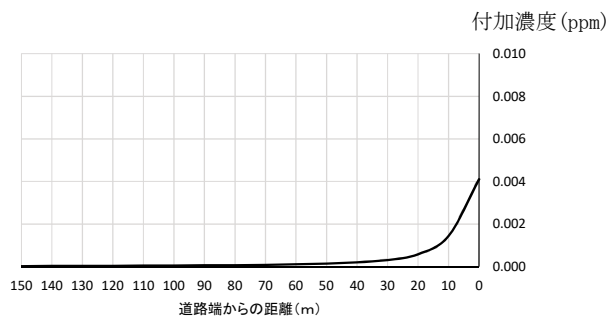
二酸化窒素 (NO_2) 及び浮遊粒子状物質 (SPM) の減衰図は図 3.2-4、図 3.2-5 に示すとおりです。

計画道路からの付加濃度は、バックグラウンド濃度（二酸化窒素 0.013ppm、浮遊粒子状物質 $0.016\text{mg}/\text{m}^3$ ）に比べて低い濃度となっています。

①聖ヶ丘四丁目付近【A案】

〈計画道路の供用時〉

北側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

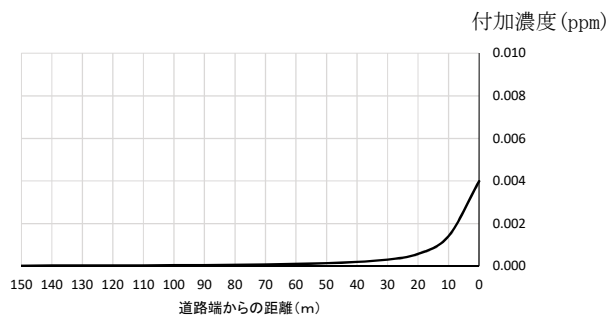
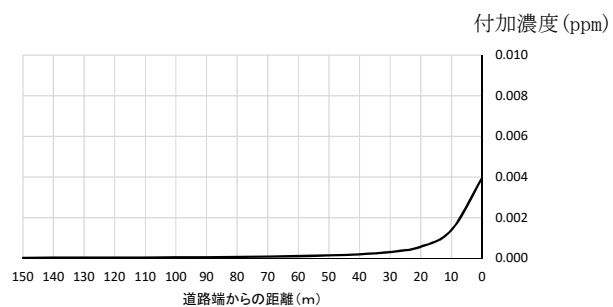


図 3.2-4(1) 大気質濃度の減衰図（二酸化窒素）

①聖ヶ丘四丁目付近【B案】

〈計画道路の供用時〉

北側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

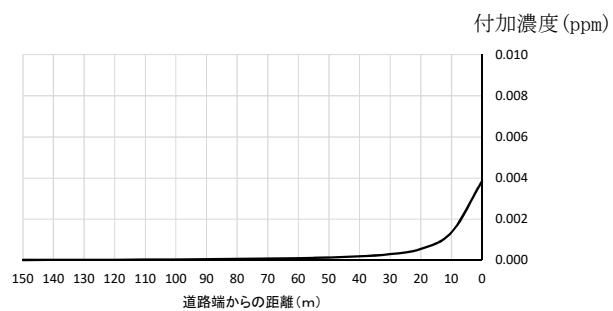
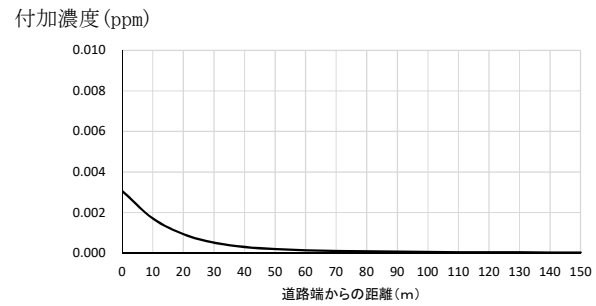


図 3. 2-4 (2) 大気質濃度の減衰図 (二酸化窒素)

②長峰三丁目付近【A案】

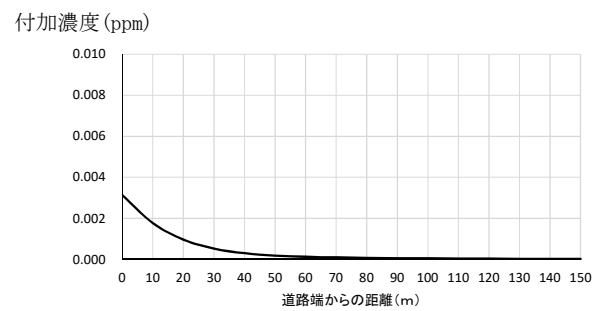
〈計画道路の供用時〉

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

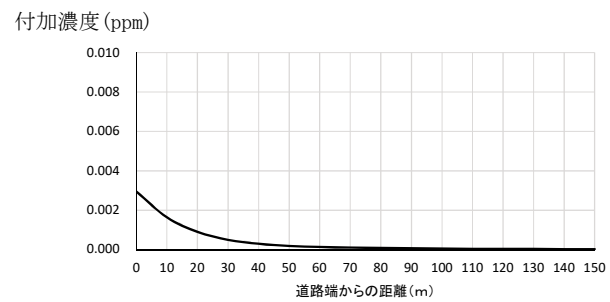
南側



②長峰三丁目付近【B案】

〈計画道路の供用時〉

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

南側

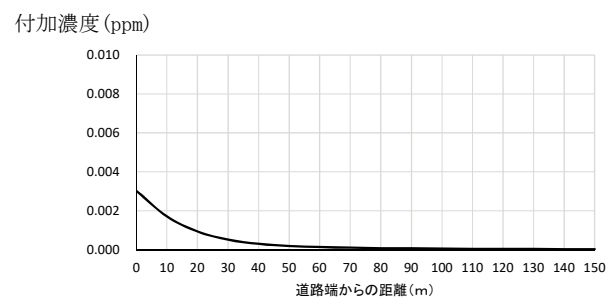


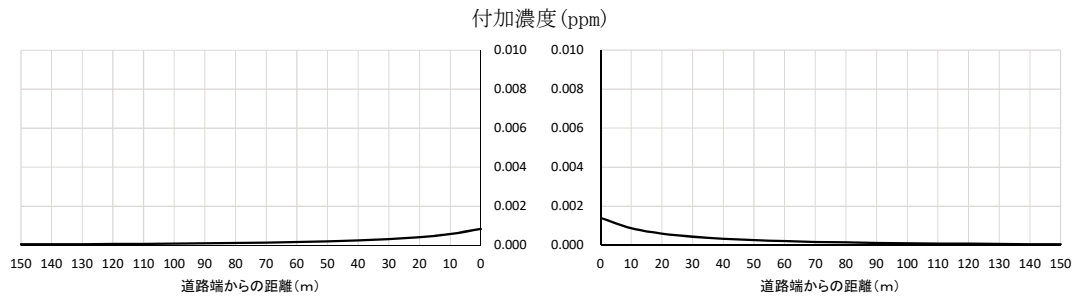
図 3. 2-4 (3) 大気質濃度の減衰図 (二酸化窒素)

③向陽台小学校付近

〈計画道路の供用時〉

北側

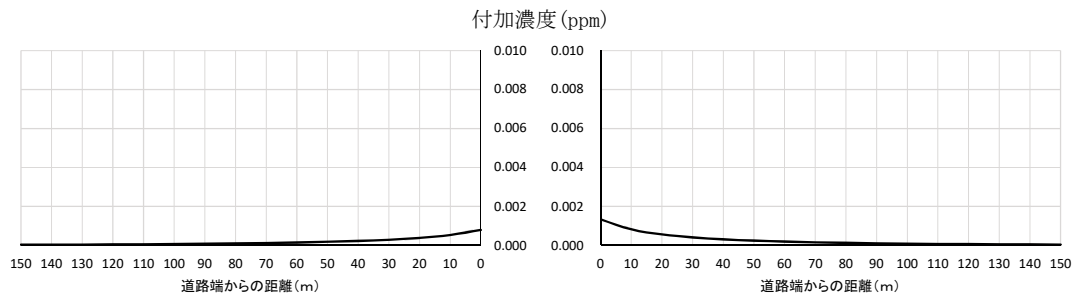
南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

南側

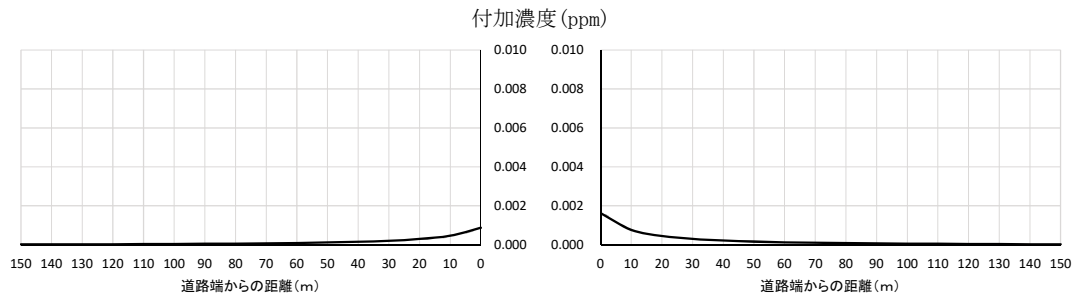


④川北下付近

〈計画道路の供用時〉

北側

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

南側

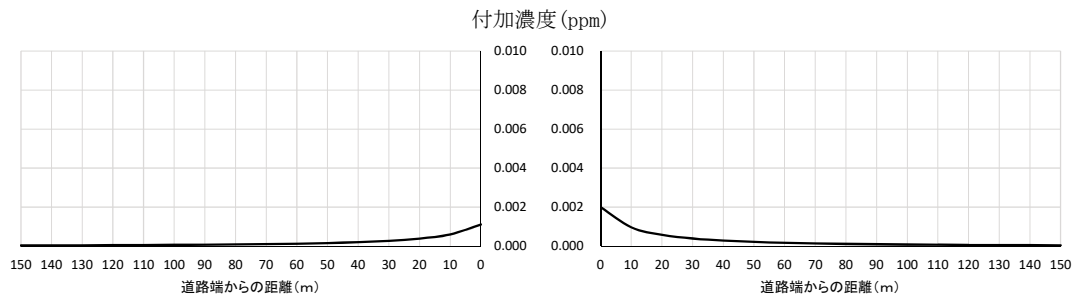
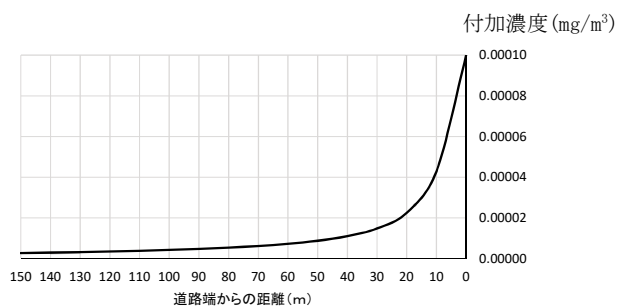


図 3. 2-4 (4) 大気質濃度の減衰図 (二酸化窒素)

①聖ヶ丘四丁目付近【A案】

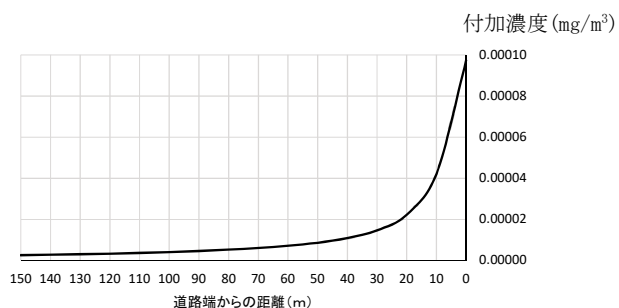
〈計画道路の供用時〉

北側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

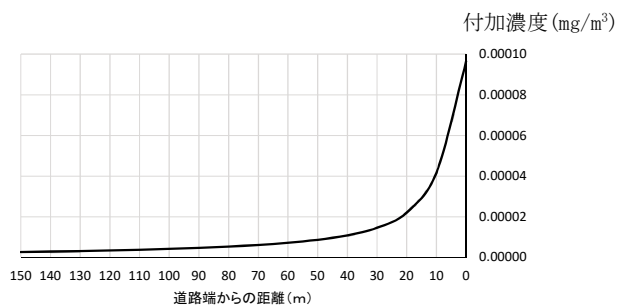
北側



①聖ヶ丘四丁目付近【B案】

〈計画道路の供用時〉

北側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

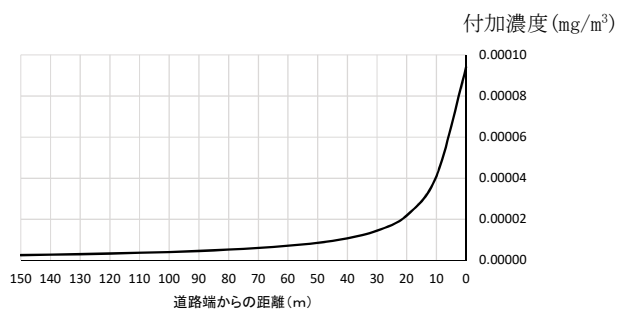
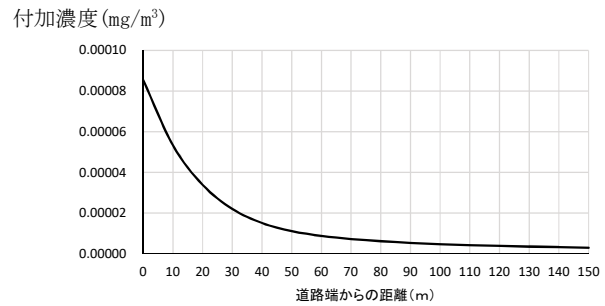


図 3.2-5(1) 大気質濃度の減衰図（浮遊粒子状物質）

②長峰三丁目付近【A案】

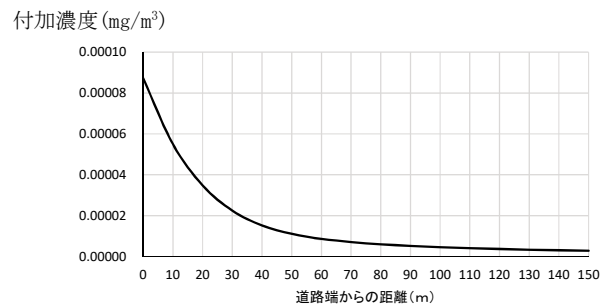
〈計画道路の供用時〉

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

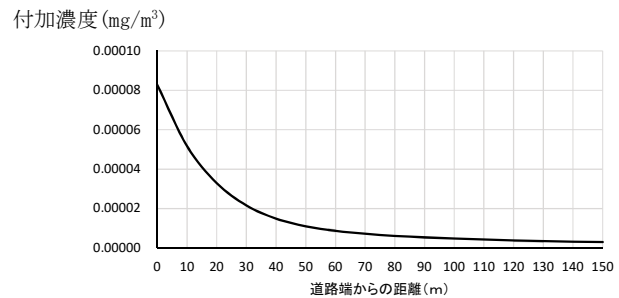
南側



②長峰三丁目付近【B案】

〈計画道路の供用時〉

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

南側

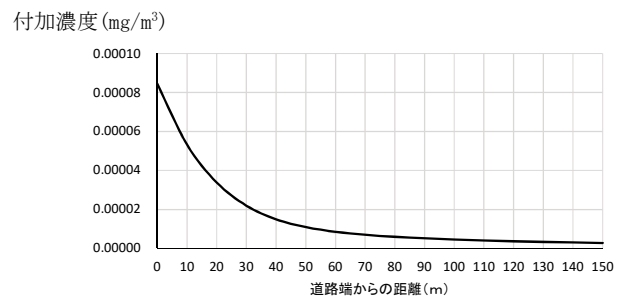


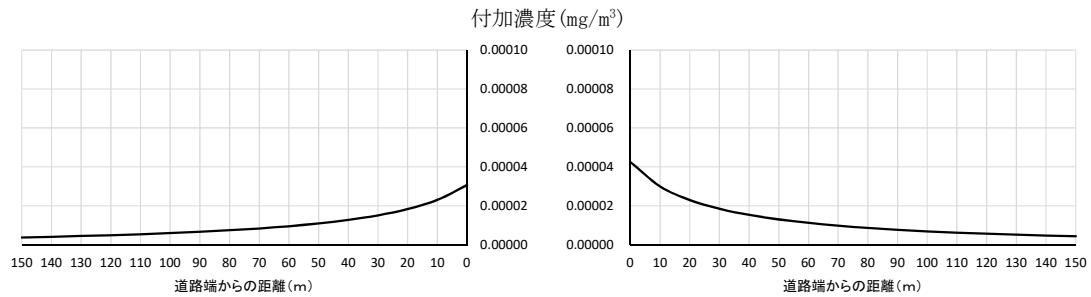
図 3.2-5(2) 大気質濃度の減衰図（浮遊粒子状物質）

③向陽台小学校付近

〈計画道路の供用時〉

北側

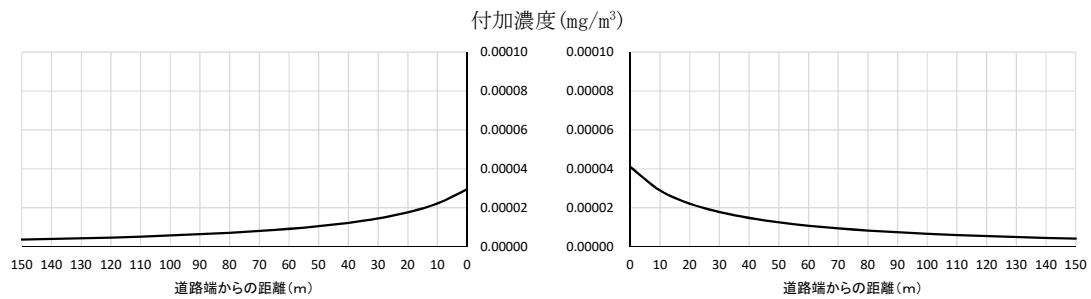
南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

南側

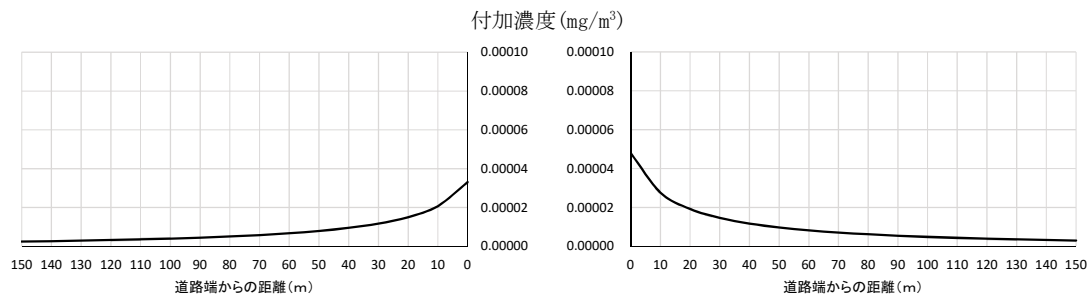


④川北下付近

〈計画道路の供用時〉

北側

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

南側

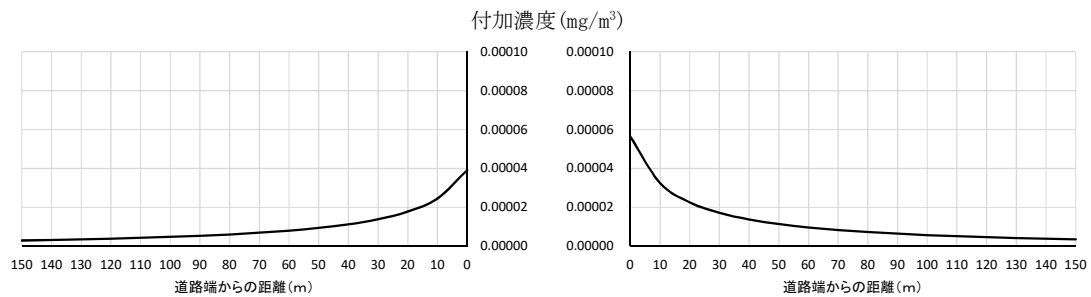


図 3.2-5 (3) 大気質濃度の減衰図 (浮遊粒子状物質)

3.3 豎谷戸大橋付近の予測について

3.3.1 概要

JR 武蔵野線を跨ぐ豎谷戸大橋付近（位置図は図 3.3-1、断面図は図 3.3-2 を参照）については、道路沿道に住居はなく、地形がすり鉢状の特殊な地形であることから予測の代表地点とはしませんでした。予測範囲の一部に住居が存在していることから、参考として大気汚染の予測を行い、付加濃度の減衰図を作成しました。

3.3.2 予測事項

工事の完了後における大気汚染の状況として、「自動車の走行に伴い発生する二酸化窒素(NO_2)及び浮遊粒子状物質(SPM)の大気中における濃度」としました。

なお、浮遊粒子状物質(SPM)については一次生成物質を予測し、反応二次生成物質等は予測の対象としません。

3.3.3 予測の対象時点

予測の対象時点は、計画道路の供用時及び道路ネットワークの整備完了時としました。

3.3.4 予測地域

予測地域は、計画道路に最も近い住居位置から、計画道路の道路端から 150m までの範囲としました。

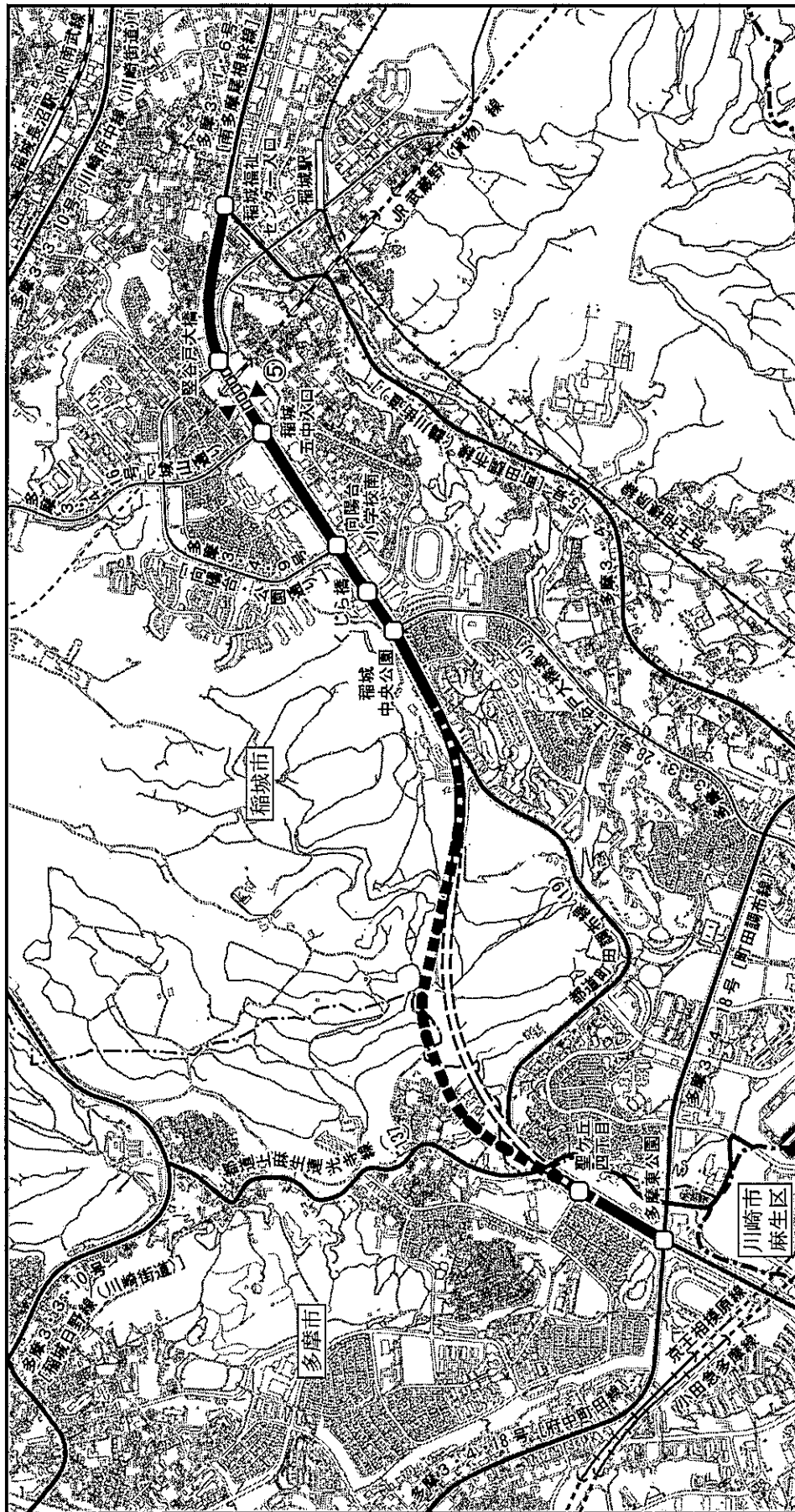
なお、予測高さ地上 1.5m としました。予測断面図は図 3.3-2 に示すとおりです。

3.3.5 予測手法

予測手法は、他の予測箇所と同じです。(10.1 大気汚染 10.1.2 予測 参照)

3.3.6 予測条件

予測条件は、他の予測箇所と同じです。(10.1 大気汚染 10.1.2 予測 参照)



凡 例

- 計画道路 (平面構造)
- 計画道路 (トンネル構造 (A案 既定都市計画案))
- 計画道路 (トンネル構造 (B案 南側変更案))
- 計画道路 (橋梁構造)
- 都県界
- 市界
- 道路 (主要地方道・一般都道)
- 道路 (計画道路と交差する主な市道)

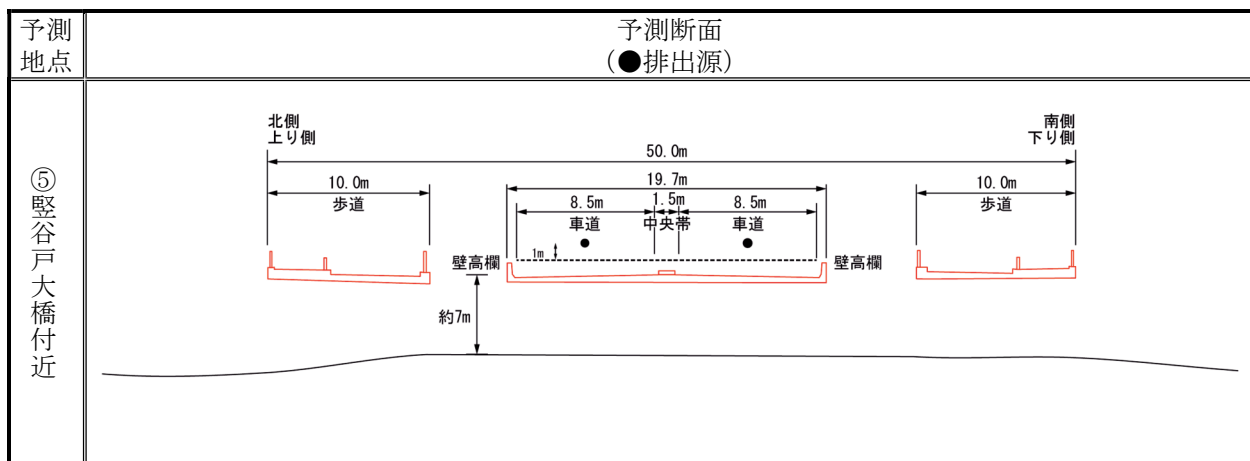
- 交差点
- 〓 鉄道

- ▲ 大気予測地点 ⑤ 堅谷戸大橋

1:20,000



図 3.3-1 予測地点位置図
(⑤ 堅谷戸大橋付近)



注) 壁高欄は高さ1.0mとして予測しました。

図 3. 3-2 (1) 大気汚染予測地点断面図 (⑤豎谷戸大橋付近)

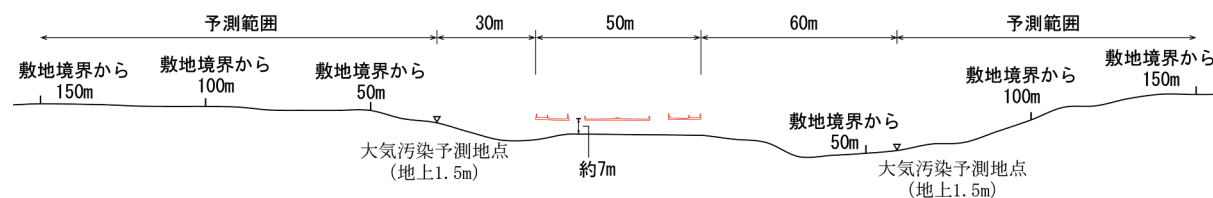


図 3. 3-2 (2) 大気汚染予測地点断面図と予測範囲 (⑤豎谷戸大橋付近)

3.3.7 予測結果

(1) 二酸化窒素 (NO₂)

二酸化窒素の予測結果は、表 3.3-1 及び図 3.3-3 に示すとおりです。

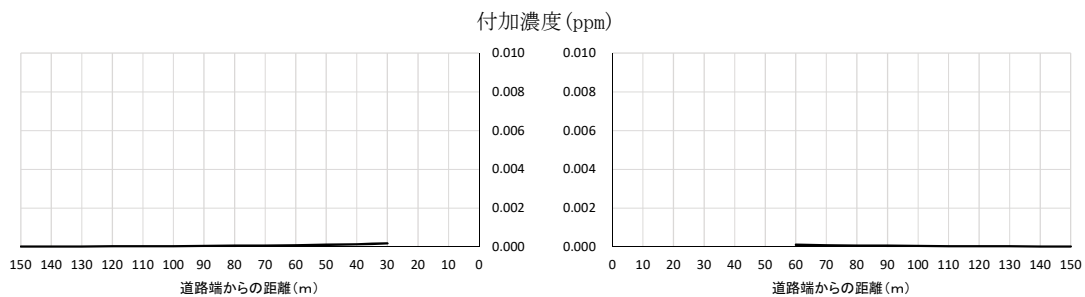
表 3.3-1 二酸化窒素 (NO₂) 予測結果 (予測範囲の最大値)

予測地点		計画道路の供用時 (ppm)				道路ネットワークの整備完了時 (ppm)				環境基準
		付加濃度	バックグラウンド濃度	将来濃度	98%値	付加濃度	バックグラウンド濃度	将来濃度	98%値	
⑤ 堅谷戸大橋付近	北側	0.0001	0.013	0.0131	0.029	0.0001	0.013	0.0131	0.029	0.06
	南側	0.0001		0.0131	0.029	0.0001		0.0131	0.029	

〈計画道路の供用時〉

北側

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

南側

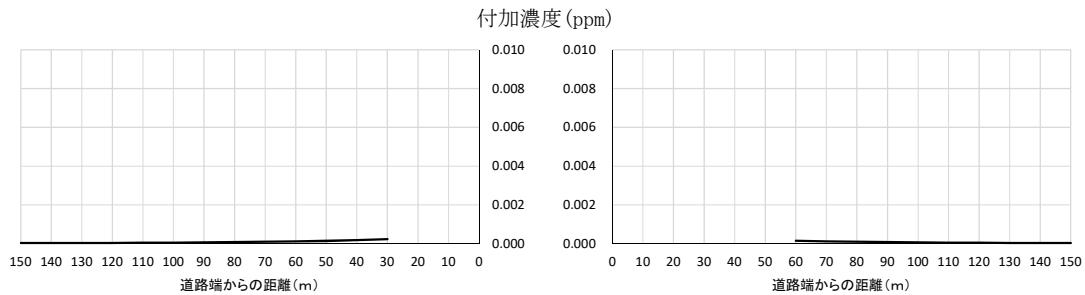


図 3.3-3 大気質濃度の減衰図 (二酸化窒素)

(2) 浮遊粒子状物質 (SPM)

浮遊粒子状物質の予測結果は、表 3.3-2 及び図 3.3-4 に示すとおりです。

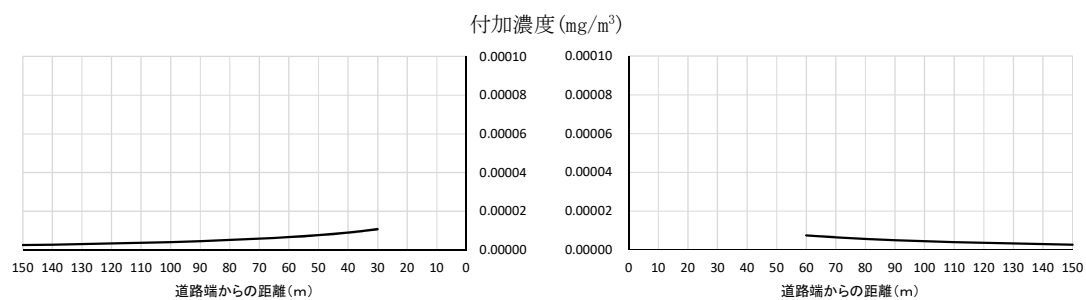
表 3.3-2 浮遊粒子状物質 (SPM) 予測結果 (予測範囲の最大値)

予測地点		計画道路の供用時 (mg/m ³)				道路ネットワークの整備完了時 (mg/m ³)				環境基準
		付加濃度	バックグラウンド濃度	将来濃度	98%値	付加濃度	バックグラウンド濃度	将来濃度	98%値	
⑤ 堅谷戸大橋付近	北側	0.00001	0.016	0.01601	0.040	0.00001	0.016	0.01601	0.040	0.10
	南側	0.00001		0.01601	0.040	0.00001		0.01601	0.040	

〈計画道路の供用時〉

北側

南側



〈道路ネットワークの整備完了時〉

北側

南側

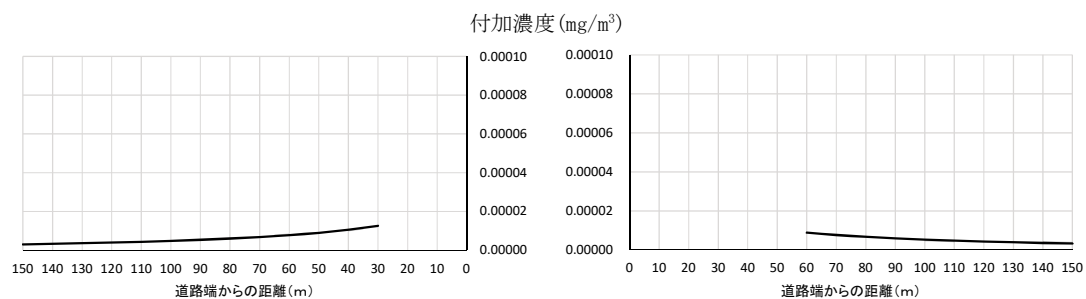


図 3.3-4 大気質濃度の減衰図 (浮遊粒子状物質)